

# 渥美半島地域の現状と課題

**現状**  
先端地域孤立の可能性がある

大規模災害時、緊急輸送道路が機能せず長期孤立する恐れ



**【課題】**  
先端地域にも地区防災活動拠点が確保されているが、道路寸断により、先端地域の孤立が想定される



**現状①**  
道の駅に必要な防災機能が整備されていない

道路寸断により先端地域が孤立した場合に備え、海側からの支援のため、伊良湖港周辺からの救援救助・道路啓開・広域支援等の防災活動拠点として、「地域内輸送拠点」である「道の駅伊良湖クリスタルポルト」の防災機能強化を図り、防災計画へ位置付けるとともに、伊良湖港周辺地区の防災機能強化を検討する必要がある。



**【課題①】**  
道の駅の防災機能整備方針・BCP策定、防災機能強化が必要



**現状②** 孤立長期化の恐れ

現状の中部道路啓開「くしの歯作戦」では、1次緊急輸送道路の国道259号は STEP2・STEP3、渥美半島の西半分と田原臨海地区はSTEP3と位置付けられており、つけ根からの片押しでの道路啓開となり、先端地域の住民や観光客が長期孤立する恐れがある。



**【課題②】**  
災害時の海上輸送機能の維持、複数の港湾との相互連携が必要

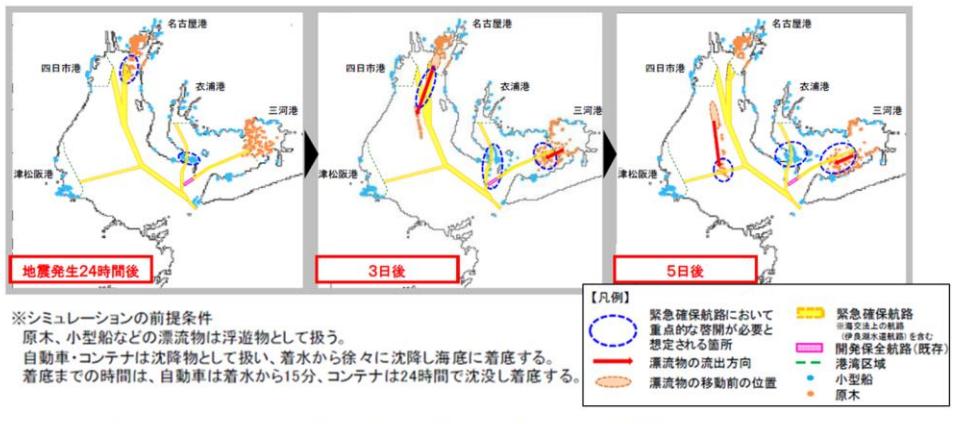


**現状③**  
航路に漂流物が想定されている

伊勢湾BCP(津波被害の想定)では、大規模地震発生時から数日の間、航路に原木・小型船等の漂流物が想定されている。



**【課題③】**  
海だけでなく、空からもアクセス可能な防災活動拠点の設置が必要



出典：平成 25 年度大規模災害発生時における港湾物流機能の早期復旧方策に関する検討業務報告書（H26.3 中部地方整備局）

# 伊良湖港周辺地区 防災活動拠点 対応方針

2026年3月

## 伊良湖港周辺地区 防災活動拠点検討会



田原市総合防災訓練



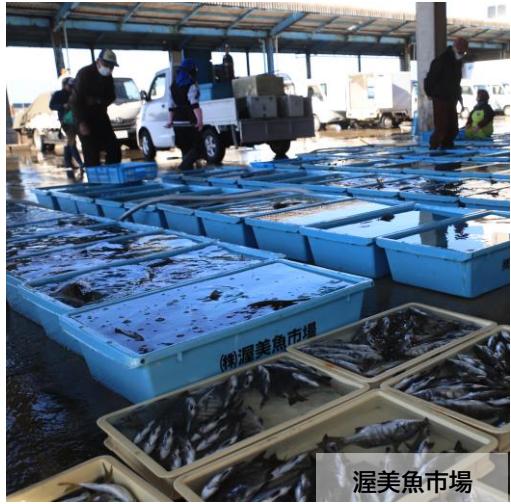
みなとを活用した災害対応訓練



道の駅伊良湖クリスタルポルト



伊勢湾フェリー



渥美魚市場



伊良湖航空写真

図 24 南海トラフ巨大地震による津波漂流物の想定

# 1. 伊良湖港周辺地区防災活動拠点 対応方針の目標設定

- 道の駅、港関係及び伊良湖地域全体の観点から道路寸断による孤立発生時の課題を踏まえ目標を設定の上、その達成のために必要な機能整備・配置の案を取りまとめるものとする。
- 「道の駅伊良湖クリスタルポルトの防災活動拠点として必要な防災機能強化・防災道の駅の指定を目指す」（最優先課題）、「災害時の海上輸送機能の維持、複数の港湾との相互連携」「伊良湖地域全体で考えた海・空からもアクセス可能な拠点の設置」を目標とし、この達成に必要な機能整備・機能配置を進める。

	課題	原因
① 道の駅	<p><b>【最優先課題】</b></p> <p>○道の駅の防災機能整備方針・BCP策定、防災機能強化が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅伊良湖クリスタルポルトにおいて、防災機能強化やBCP策定、建替えに合わせた防災機能強化を行い、防災道の駅や重要物流道路（補完路）の指定を目指す必要がある。</li> </ul> <p>○地域内輸送拠点として受け入れ体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅に届けられる物資の保管場所の確保、輸送体制を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の道の駅は、防災拠点を想定した必要な機能が不足。</li> <li>・地域内輸送拠点に指定されたがBCP未策定で、受け入れ体制の検討が十分に進んでいない。</li> </ul>
② 港関係	<p>○災害時の海上輸送機能の維持、受け入れ体制・航路啓開体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援物資の受け入れ体制や方法の具体化が必要</li> </ul> <p>○複数の港湾との相互連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の港湾が相互連携する計画検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援物資受け入れのための港湾及び背後地の運用検討が十分に進んでいない。</li> <li>・港湾の相互連携に関する検討が十分に進んでいない。</li> </ul>
③ 伊良湖地域全体	<p>○海・空からもアクセス可能な防災活動拠点の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波浸水等により、緊急輸送道路が一時的に寸断する可能性があり、半島先端部の長期孤立を招く恐れがあることから、海・空からもアクセス可能な防災活動拠点が必要</li> </ul> <p>○道路・航路の啓開体制の確立、情報連絡体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸と海を想定した啓開ルートが複数必要</li> <li>・自衛隊、海上保安庁等の受け入れ体制の検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波浸水や液状化等により、道路網が寸断する恐れがある。</li> <li>・陸・海からの支援受け入れ体制の検討が十分に進んでいない。</li> </ul>

**方針目標**

**道の駅伊良湖クリスタルポルトの防災活動拠点として必要な防災機能強化・防災道の駅の指定を目指す**

**災害時の海上輸送機能の維持、複数の港湾との相互連携**

**伊良湖地域全体で考えた海・空からもアクセス可能な拠点の設置**

# 2. 対応方針における対象範囲【災害想定・支援対象】



# 3. 対応方針の目標達成のために必要な機能整備・機能配置案

